東京２０２０大会等武蔵野市実行委員会通信

Ｖｏｌ．２　平成 30 年 1 月 23 日　発行／編集　武蔵野市総合政策部企画調整課

「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会等に向けた武蔵野市実行委員会」の活動内容を共有するため、『東京 2020 大会等武蔵野市実行委員会通信』を発行しています。ご一読いただけると幸いです。

各分科会の活動報告

ボランティア・市民活動・広報分科会

第３回会議（平成 29(2017)年 10 月 20 日（金）

■内容:事務局が議論に入り、分科会の具体的な取組について、各団体と話し合う形式を取った。

【結論】

・３つの提案（①障害者のスポーツを支援するボランティアについて、各団体を通じてイベント等の機会毎に募る仕組みの構築、②子供たちがオリンピック・パラリンピック等について取材・広報を行うチームの結成、③おもてなしボランティア）については、年度毎のスケジュールを作って進めていく。なお、③については武蔵野市観光機構と調整の上で検討する。
・既存の活動を活かして、各団体が可能な範囲で協力し合えるようにする。
・障害者スポーツについての講演会を実施する。

【主な意見】

・中高生によるボランティアは、体験学習の位置づけである。中高生は、体験させてあげるような指導が必要。
・来年４月からスケジュールを立てて進めていくと、2020 年に向けて良いかと思う。2020 年の７月にピークがくるようにもっていく。また、夏休みを使った勉強会なども良い。
・当実行委員会のような取組みは当市のみということであり、2020 年に他自治体から当市に来る児童・生徒たちにとっては連続性が無い。
・小中高生などが吉祥寺駅などの様子を絵に描いて、大学生は動画にして、大会期間中に来街者に紹介するような取組みはどうか。多言語で話せる人も、観光ガイドとしてではなく、外国人の目線に立って自分たちが考えた絵地図などで街の紹介をする。

スポーツ・健康分科会

第２回会議（平成 29(2017)年 9 月 29 日（金）

■内容：

分科会としての取り組み案を各委員より提案、説明していただいた。主な提案内容は、体力テストの実施と指導、ブラインド体験、体組成測定と運動・食事指導、オリンピック・パラリンピ

ックに関連した講演会や特別講座の開催、スポーツフェスタの開催、Sports for All イベントへの運営委員としての参加、聖火ランナー、市内スポーツチームの情報提供、ウォーキングマップの集約・アプリの活用など。

また、第１回の分科会において事務局から提案した取り組み案（運動・スポーツに関連した動画を投稿する My Sports 1 Minute Movie、駅前での競技体験イベントの実施など）について委員より意見をいただいた。

【主な意見】

・分科会においてボッチャの体験をすることは、障害者スポーツを支えるという委任事項の視点に合う。
・テーマを決めて試行的に動画撮影に取り組みたい。
・撮影は団体任せだと厳しいのではないだろうか。
・動画には各団体のＰＲ、宣伝も入れたほうがよいのではないか。
・facebook を見られない人もいる。吉祥寺の駅前ビジョンなどで流せたら良い。
・情報発信について、スポーツに関連した情報を集めて載せるなど、一つのプラットフォームとして発信していくのは良い。
・市の取り組みが市民に認知されていないのがもったいない。情報公開などが喫緊の課題。

第３回会議（平成 29(2017)年 11 月 13 日（月）

■内容：

各委員から提案していただいた取り組み案を事務局により時間軸や実施主体などで整理し、さらにその中から早期に取り組めそうな案①運動習慣の定着化、②My Sports 1 Minute Movie について具体的な実施方法（案）を提示した。

グランドスラム東京 2017 大会に出場するルーマニア柔道選手と子ども達との交流(柔道教室)をスポーツ・健康分科会の取り組みとして進めることとなった。

会議の前後に、パラ競技であるボッチャを体験した。

【主な意見】

・ルーマニア柔道選手の観戦イベントおよび交流は、「今回限り」ということでなければ良いと思う。
・やる側も楽しくないと繋がっていかないので、まずは実施してみて次につながる流れをつくっていきたい。
・スマホが普及しているので危険性を認識すれば動画撮影は生徒でも取り組める。
・大学生もスマホで動画を作るのは得意。こんなところでこんな取り組みが、というのがわかるので、地域の活性化に結びつくところが良い。
・作る側に対して意図やメリットを伝えたい。期間、趣旨という軸足をしっかりさせる必要がある。
・動画に英語の字幕を入れると広がりがあり、留学生がその国の言葉でやっても面白い。
・運動習慣の定着化としては 40～50 代の人たちが参加できるような仕組みにする必要がある。
・体組成測定は来場者が多いイベントで実施するのが良いのではないか。
・インボディ測定の集客と、測定したあと次にどのようにつなげていくかが大事だ。

文化・交流分科会

第２回会議（平成 29(2017)年９月 25 日（月）

■内容：①オリパラ文化プログラムについて、日本や東京、ロンドンの取り組みを事務局が紹介。
②「分科会として取り組んでみたいこと」をテーマにグループワーク。

【主な意見】

①文化プログラム紹介

・今ある文化的なものを把握し、オリパラに向けどう発信していくか。次世代にどうつなげていくか。オリンピックが終わっても継続できるものを考えていく必要がある。

②グループワーク

・市の伝統芸能の発信―外国人に向けて。
・私たちも武蔵野市を学ぼう「オーラルヒストリープロジェクト」。
・吉祥寺からアートなフェスティバルを。
・国際交流（ルーマニア）、市民にルーマニアのパフォーミングアーツ、映画上映など。
・障害者に対するソフト面での環境整備、アールブリュット、ワークショップ発表の場。
・オリンピックに向けて、組織委員会からの講師を派遣してもらう。
・アールブリュットの理念を継承していく。アートは見るだけでなく参加型を。
・国内の外国人に協力してもらい文化紹介を。日本のことを知る機会。
・大学…学生、留学生、ボランティアの活用などで協力できる。
・海外アーティストの招聘、発表の場。
・武蔵境エリアは、亜大、国際交流協会がある。衣装・料理・芸術などでコラボできる。
・国際的な文化交流の場づくりをしたい。

第３回会議（平成 29(2017)年 11 月６日（月）

■内容：事務局から案を提示しつつ、今年度に実施する事業の検討をした。
（案①基調講演+パネルディスカッション、案②基調講演+グループワーク、案③文化芸術イベント視察）

【結論】

・基調講演を実施（2018 年２月 18 日（日）午前中）。
講師は調整中。会場は 811 会議室を予定。
聴衆のメインは実行委員会委員及びその組織に属している人たちを想定。
講演内容は、「オリパラ文化プログラムと地域の活性化について」（市民目線でオリパラを自分事としてとらえてもらえるようなものに。）
・イベント視察等は、参考になりそうなイベントがあれば実施する。

【主な意見】

・今後の取り組みの参考になるような基調講演をしてほしい。
・ロンドン大会の様子が知りたい。（自治体がどんな取り組みをしたか、文化面では何をしたか等）
・他の分科会の動きと連動することも検討したい。
・分科会の委員も楽しめることが大事。

観光・産業・交通（輸送）分科会

第２回会議（平成 29(2017)年９月 13 日（水）

■内容：前回の意見交換を踏まえ、分科会としての取り組みを検討した。

【主な意見】

・留学生や在留外国人に対し来日外国人が何に興味をもつのかの情報収集と、受け入れる側の店舗がどこまで歓迎してるのかについてアンケートをしてみたい。収集した情報をＷｅｂにあげることも検討したい。
・ラグビーワールドカップの開催に合わせ、吉祥寺秋祭りやアニメワンダーランドといった既存のイベントを多言語化して活用できないか。
・これまでの経験でアニメイベントでは中国人や韓国人の来客も多く、地域の商業活性につながる。商店街のマンホールにアニメのモニュメントを残したいという意見も市役所に相談している。武蔵境駅南口については、味の素スタジアムへの中央線側での玄関口になるので、しっかり取組みたいと考えている。
・外国人はクレジットカードを多用するが、個人商店等では使えないことが多い。環境整備について、サポートできる仕組みが必要。

【結果】

結論は出なかったが、商業関係者と交通事業者が集まっている中で、観光や産業の視点を共通事項として、さらに協議をつづけることとした。

第３回会議（平成 29(2017)年 11 月 14 日（火）

■内容：分科会としての取り組みについて提案が複数あり、実現について検討した。

【主な意見】

・各バス事業者が路線により導入している「オリ・パラ特別仕様のナンバープレート」をムーバスに導入すれば、武蔵野市はオリ・パラ競技大会を応援していると市内外にアピールすることができると思うので、分科会の事業として実施するよう提案したい。
・外国人対応を積極的に取り組んでいる商店、飲食店がどのくらいあるのか、パブリックビューイングを設置している店舗がどのくらいあるのか、アンケートを通して見えてきた部分もあるので、そうした情報を盛り込んだマップの作成、配布を考えていきたい。
・日本のアニメを海外に発信して、外国人を誘致するというのは、観光庁が国家戦略として行ってきたもので、日本のアニメ聖地８８に武蔵野市を題材とした２つの作品が選ばれた。そのうちひとつは主に武蔵境地域を舞台としており、水面下では様々な「仕掛け」を考えているが、

地域性もあり、（このタイミングで）取り上げていくのは難しいと考えている。

・ワールドカップやオリ・パラの機運を盛り上げ、関心を持ってもらうため、市内３駅の利用者に向けたカウントダウンボード（開催まであと〇〇〇日）等が置けないか。

【結果】

複数の意見があったが、実現にいたるまでの制約などを検討し、採決の結果、ムーバスのナンバープレートをオリパラ仕様とすることを、分科会第１号の施策として決定した。

市からのお知らせ

「東京 2020 ライブサイト in 2018」を開催します

■日時：平成 30(2018)年２月 10 日（土）～2 月 12 日（月・祝）

■場所：都立井の頭恩賜公園西園

■内容：平昌 2018 オリンピック冬季競技大会の競技の生中継を行うほか、様々なオリンピック・パラリンピック競技の体験、展示、飲食販売等を行います。Crystal Kay も予定。吉祥寺音楽祭実行委員会にもステージ登壇の協力を打診中。

■主催：東京都、（公財）東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

■イベント URL：https://tokyo2020.jp/jp/special/pyeongchang-to-tokyo/livesites/

＊ライブサイトとは、競技会場外で、大画面による迫力ある競技の生中継、ステージイベント、競技体験等を楽しむことができる、オリンピック・パラリンピック競技大会の公式事業です。

文化・交流分科会主催【講演会】を実施します

■日時：平成 30(2018)年２月 18 日（日）午前 10 時から正午（会場：9:30）

■場所：市役所西棟８階　811 会議室

■内容：東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたシンポジウム

「文化オリンピアードから地域の活力創出を」～武蔵野市で私たちができること～

【講師／パネリスト】吉本　光宏　氏（ニッセイ基礎研究所社会研究部研究理事／東京 2020 大会組織委員会「文化・教育委員会」委員）

榎本　了壱　氏（アタマトテインターナショナル代表／日本文化デザインフォーラム幹事）

【コーディネーター】高樹　ミナ　氏（スポーツライター）

■問い合わせ先：武蔵野市交流事業課 0422-60-1806

武蔵野市ロードレース　～駅伝・マラソン大会～

■日　　時：平成 30(2018)年 3 月 4 日（日）

■場　　所：武蔵野陸上競技場ほか

■内　　容：平成 30 年 3 月 4 日（日）に市内を走る「武蔵野市ロードレース　～第 58 回武蔵野市内駅伝競走大会・第 27 回武蔵野市民健康マラソン大会」を開催します。武蔵野市市制施行 70 周年記念事業として愛称を公募し、「武蔵野市ロードレース」と決定いたしました。今年度は参加賞としてオリジナル記念 T シャツを差し上げます。

■スタート：【駅伝】午前 9 時 30 分、【マラソン】午前 11 時 15 分

■申し込み：1 月 31 日（水）午後 9 時まで、申込順。1 月 11 日（木）まで市民優先申込期間を設け、1 月 18 日現在、駅伝は定員に達しているためキャンセル待ち（駅伝中学の部は抽選）、マラソンはあと 40 名ほど申し込みが可能な状況です。所定の申込用紙（http://www.musashino.or.jp/から印刷可）をファクス（要受信確認）、または直接総合体育館 56-2200、FAX51-5493 へ。参加費は直接持参してください。代理出走は禁止です。

■イベント URL：

http://www.city.musashino.lg.jp/kurashi_guide/sports/taikai_gyoji/1018125.html

http://www.musashino.or.jp/oshirase_sports.html?no=4873&prv=list&f=1

■問い合わせ先：（公財）武蔵野生涯学習振興事業団 0422-56-2200、
武蔵野市生涯学習スポーツ課 0422-60-1803

【事務局】武蔵野市総合政策部企画調整課（オリンピック・パラリンピック担当）　宮本・谷藤
〒180-8777　武蔵野市緑町２－２－28　電話番号　0422-60-1970（直通）FAX　0422-51-5638
メールアドレス　SEC-OLYPARA@city.musashino.lg.jp